

マイトーク MY TALK

第16号

発行：中央大学放送研究会OB会(会長／若尾英樹)

住所：〒192-0351 東京都八王子市東中野742-1 中央大学放送研究会気付

発行日：2016年(平成28年)1月

放送研究会OB会総会を開催

— 学員会支部への登録を決定 —



平成27年9月5日(土)午後1時30分から、品川プリンスホテルメイインタワー15階宴会場「トパーズ」において、第9回OB会総会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、来賓2名、OB会員66名、現役36名、計104名が出席。幹事長の長谷部勲さん(14期)が議長に選出され、事業報告、会計報告、監査報告に続いて、学員会支部への登録議案と会則の変更が提案され、満場一致で可決されました。

また、役員改選についても了承され、新たな体制が誕生。新会長若尾英樹さん(12期)による新役員紹介と三期八年に渡って

会長を務めた砂岡茂明さん(12期)から退任の挨拶がありました。

続いて、懇親会に移り、新幹事長斎藤剛さん(15期)の司会で進行。まず初めに来賓としてお招きした学員会副会長の関正様から祝辞を戴き、その中で中央大学の置かれた受験者の減少化傾向など厳しい状況の報告がありました。

引き続き、加賀美鐵雄OB会顧問のご発声で乾杯。懇談の時間となりました。

この後、現役制作の映像番組「帰省物語」を上映。砂岡前OB会長によるスライドショー「放研の今昔」で懐かしい写真を拝観。また、趣味の作品出展者やマイトーク特別増刊号に投稿戴いた方、新OBへのインタビューなど盛り上がりました。

趣味の作品展には、絵画、写真、陶芸、彫刻など9名の会員が出展。総会会場のエントランスに展示し、その完成度に皆さん感心しきりでした。「マイトーク特別増刊号」は今回の特別企画として発刊、総会出席者に配布したものです。

懇親会も二時間を過ぎ、話が弾んで宴たけなわでしたが、若手OBを代表して小田島香さん(58期)による中締め、そして恒例になった全員で肩を組み輪になっての「惜別の歌」の大合唱となりました。

記念撮影の後、次回二年後の放研創立六五周年での再会を約束して散会。

名残惜しく会場を後にしましたが、各期毎でしょうか、二次会、三次会が各所で行われたようです。

OB会組織を発展的に継続しましょう

OB会長 若尾 英樹 (12期)



第9回総会において、第四代会長に選任されました。本来なら晴耕雨読が如く気楽に余生を送るはずの者にとつ

ては、少々荷が重い気がしておりますが、なんとか重責を全うしたいと思っております。

さて、中央大学放送研究会OB会は、今年(平成28年度)白門放送研究会支部として、学員会に登録申請する事になりました。

来年(平成29年9月)にはOB会総会及び六五周年行事が控えています。

様々な世代の老若男女が一堂に会したOB会組織は、文化系で他にあるでしょうか?という話を外部の方からよく聞きます。それだけに皆様の力をお借りして、健全なOB会運営を継続していかなければなりません。

学生時代に活動を共有した放研へ年齢を重ねるごとに深まる郷愁を憶えるのは、私だけではなく多くの方々が思うことではないでしょうか。ですから同期会の結束は、放研OB会の繁栄に繋がるものと確信しております。

先輩、後輩の集える唯一の場を確保すべきではない



第10期の新役員を紹介

でしようか。それには、多くの情報をOB会員の皆様にお届けするマイトークを制作するために、何よりも財政基盤の充実が必要です。年を重ねる毎に会員数は増えますが、会費

OB会長を終えて

平成10年7月に新宿の京王プラザホテルで開催された、第三回OB会総会で幹事長に選出されました。OB会の役員はこの時が初めてで、しかも、運営の要の幹事長ということで、戸惑いも多かったのですが、今は亡き水上虎馬雄会長から、「君ならできるよ、安心して任せたら」との一言で、不安も吹き飛び、職務に邁進することができました。その二年後には、水上会長夫妻が前後して亡くなられ、お葬儀のお手伝いや、総会に併せての追悼会、放研創立50周年事業、と休む間もなく行事を行ってきました。

平成16年からの副会長一期3年を経て、平成19年から、藤原尚武会長の後任として、第三代のOB会会長に就任しました。現役時代は技術部に所属し、録音、ミキシング、テープ編集といった全くの裏方を担当していましたので、表舞台上

納入者は残念ながら減少しております。特に今後を担う若い人達から、会費を納入いただき、楽しんで総会及び周年行事、マイトーク投稿に進んで参加できるようにOB会にするにはどうしたらいいか役員会及び幹事会で相談していきたいと思っております。世代を超えた皆様からの貴重なご意見をお寄せいただければ幸いです。

砂岡 茂明 (12期)



出るのが不得手な自分が会長職等勤まるかと

の思いも強かったのですが、幹事長の経験を活かし何とか務めてきました。

しかしながら、個人の力だけでは、会の運営はうまくいく筈がありません。副会長、幹事長をはじめとした役員の方々の絶大な協力があったものと深く感謝しております。

幹事長から始まった役員は、通算17年間になります。その間、先輩諸氏から頂戴した叱咤激励、同期や後輩からの様々な意見・提案などを運営の糧に頑張つてこられたのはこの上ない幸せだと思っております。

OB会は、創立期の会員の高齢化、新入会員の減少等により、存続の危機を迎えていると言っても過言ではありません。新しい若尾会長のもとでのOB会運営に皆様の絶大なるご協力をお願いして会長退任のご挨拶とさせていただきます。

4. 第10期役員

役職	期	氏名(敬称略)	備考
顧問		加賀美 鐵雄	
会長	12	若尾 英樹	
副会長	8	藤原 尚武	
副会長	12	砂岡 茂明	
副会長	19	福田 好朗	
会計監査人	14	長谷部 勲	
会計監査人	17	谷井 健	再任
幹事長	15	齋藤 剛	
副幹事長	18	大悟法 安路	再任
副幹事長	20	松原 優	再任
副幹事長	58	小田島 香	
会計	13	佐藤 猛志	再任
会計	18	伴 信昭	
現役	65	菅井 玲	委員長
現役	66	高木 良織	副委員長
ゴルフ部会長	11	河合 昭次郎	再任

●マイトーク特別増刊号

今回の総会でお配りした(会費納入者には送付済み)マイトーク特別増刊号では多数の投稿をいただき嬉しい限りです。寄せられた様々な作品の目次が載っている表紙を掲載します。増刊号、ご希望の方は幹事長 齋藤までご連絡下さい。(TEL. 045-962-9622) 尚、会費納入確認後発送させていただきます。



マイトーク MY TALK

特別増刊号 会員寄稿文特集

●CHK写真館～写真でみるOB会の沿革～	OB会長 砂岡茂明	1
●発行にあたって	佐久間良平(6期)	37
●寄席に集う	藤原尚武(8期)	38
●札幌オリンピックの記憶 日本初のメダル独占の実況	多胡和雄(9期)	39
●初マラソンは七十才	花岡裕(10期)	42
●放研の思い出	有松幹夫(11期)	44
●「私の七十五年」の記憶を振り返って	田村芳和(11期)	45
●「ずっと気がかりなこと」	河川友彦(12期)	47
●東海道五十三次歩きで心に残った事	志村弘昭(12期)	48
●放研 あゝCHK	砂岡茂明(12期)	53
●取材旅行(東北編)	十二期有志(12期)	54
●現役時代の取材旅行(北海道編)	高橋俊次(12期)	58
●放研スキー十二年の歩み雑感	因田宏紀(13期)	62
●我が思い出のスポーツ人生	柳田美根子(13期)	68
●四十年振り!	荒井藤樹(14期)	74
●古稱を過ぎての「あえいうえおあお」 留学生に日本語指導	金子達昭(14期)	75
●うずまき考	安倍典世(15期)	77
●先輩の言葉に反省	佐伯昌孝(15期)	79
●過去・現在・未来	堂前綾子(15期)	80
●聞いてくださいますか?恋の出会いを	川崎博(17期)	82
●東京オリンピックを夢見る聖火ランナー	田村祐二(17期)	83
●放研を思う!	伴信昭(18期)	84
●二〇〇八年八月八日(北京オリンピック)	松原優(20期)	87
●地球の反対側へ～七日間の南米旅行	小笹滋樹(23期)	89
●我が思い出の放研	山口泰弘(51期)	94
●その流れの先端を目指して走り続けるのみ!	清水厚志(52期)	96
●なつかし用語	赤松卓朗(54期)	98
●TAMA-CUP		99
●編集後記		105

総会の報告及び議決事項

1. 事業報告

【総会、機関誌等発行】

平成24年 9月	創立60周年及び第8回総会開催
平成24年 9月	「放研60周年の軌跡」(冊子)発行
平成24年10月	「放研60周年の軌跡」(DVD)発行
平成25年 5月	マイトーク14号発行
平成26年12月	マイトーク15号発行

2. 会計報告

(平成24年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部	金額
前期繰越金	738,925
60周年会費	1,105,000
60周年寄付金	1,226,580
年会費 24年度～26年度 145名	950,000
雑収入	756
合計	4,021,261

収出の部	金額
会議費	196,081
慶弔費	32,025
事務費	34,625
8回総会・60周年事業費	1,058,758
60周年現役への寄付金	200,000
機関紙・名簿・DVD制作費・発送費	1,063,855
備品(ノートパソコン)	91,894
次期繰越金	1,344,023
合計	4,021,261

3. 議案

議案1 学員会支部への登録について

来年度を目処に学員会支部へ登録を行う。
なお、支部登録に伴い、会の名称を「白門放送研究会」とし、会長、副会長は、それぞれ支部長、副支部長とする。

議案2 総会開催時期の変更について

原則として9月とする。(現在は7月中)

議案3 役員改選について

※学員支部登録のメリットについてはマイトーク15号の「提案—OB会を白門支部に」(川口さん17期)の記事をご参照ください。

現役から

総会に出席して&近況報告

菅井 玲 (65期)



今回OB総会に委員長として大変貴重な経験をさせていただきました。私が一番率直に感じた感想は、「放研のことが好き」この一言に尽きると

思います。OB、OGの先輩方とお話をさせていただいた時、先輩方が話してくださる放研の思い出やその後の活動などを通して、本当に「放研」のことが大切になってきたことが伝わってまいりました。

恥ずかしながら、「惜別の歌」をよくわからないまま迎えてしまったのですが、その時の会場の一体感は、詩を知らずとも放研の歴史を繋ぐ何か特別なものを感じられたような気がしました。

現在67期まで続いている放送研究会ですが、期を問わず、OB・OG・現役を問わず「放研のことが好き」であることを体感した会であり、この度委員長として関わることができて大変誇りに思います。

最後になりますが、今回このような場に私達現役生を呼んでいただき、本当にありがとうございます。続いて放研現役生の近況報告をさせていただきます。

OB総会から3ヶ月。放研現役生としては、イベントラッシュの期間でありました。

OB総会の後間も無く3泊4日の沖繩合宿を行

い、会員の親交を更に深めて参りました。

9月の合宿を終えると、10月には1・2年生（今年度は66期と67期）だけで行う初めての身内向け番発（DJ職人）。11月には1・2年生で行う初めての外部向け番発（秋の番組発表会）を実施しました。この2つの番組発表会を経て、1・2年生は自分達で「番組発表会」を創り上げる基礎を知ることができたと思います。

まだまだ課題点は多くありますが、今後は65期とは違う、66期と67期らしい番発を創ってくれるはずです。

また、秋の番組発表会は白門祭期間ということもあり、放研では番発だけでなくサテライトスタジオや出店の企画を行いました。



今年のサテライトスタジオでは1年生がステージ企画を行う「新入生企画」を始め、他団体や引退した4年生などの参加がありました。出店では、昨年引き続き「甘味処放軒」としてお団子を売りました。白門祭にいらっしやったOB・OGの方々、ありがとうございました。



そして12月には3年生の引退番発である「冬の番組発表会」を実施します。

3年生優先のルールは存在せず「面白い作品を流す」という考え方にに基づき、今年も力作揃いの選考会を行います。執筆時ではまだ準備段階ですが、個々が最高の番発であったと思えるよう、現役生一同取り組んで参ります。

冬の番組発表会を終えると、3年生は引退し、2年生（66期）が中心となって活動していくこととなります。先輩方がつないできて下さった「放研の糧」を次の代に伝えていけるよう、1・2年生には頑張ってもらいます。

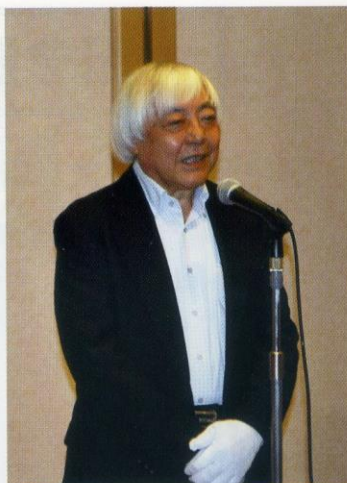




総会進行 長谷部 幹事長



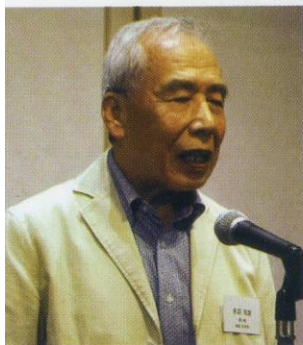
司会進行 齋藤 新幹事長



乾杯のご発声 加賀美顧問



来賓の学员会関副会長



マイトークに初マラソンの寄稿をされた多胡さん



「三四郎池のカワセミ」などの絵画を出展された近内さん

総会スナップ



会員同士で挙式したばかり、皆さんに祝福された山口さん夫妻



中締めは 58 期の新副幹事長、小田島さん



A テーブルの皆さん



C テーブルの皆さん



F テーブルの皆さん



記念撮影

第9回 中央大学放送研究会 OB会総会



2期から11期の参加者



12期から15期の参加者



フィリピンでの潜水写真
(6期 黒沢さん)



作品展示風景

会員の皆さんの作品を展示

前回好評だった会員の作品展示。
今回も大変素敵な力作を出展して
いただきました。
ご協力、ありがとうございました



笑う仏像 招福祈願 (12期 米山さん)

期	氏名(敬称略)	ジャンル	タイトル等
5	岡村参次	水彩画	「赤レンガの駅舎」「骨董市」
6	黒沢 健	写真	潜水写真パネル6点 フィリピン地図パネル
6	佐久間良平	陶芸作品	「茶碗」5点
12	河口友彦	油彩画	「生物(秋の果物)」「碓氷峠・めがね橋」
12	具志有芳	自作本	「日本全国海岸線一周の旅」
12	近内紀久子	絵画	日本画「三四郎池のカワセミ」水彩画「奈良聖地の庭の美」水彩画「みなちゃん」
12	志村弘昭	絵本 水彩	(絵本)「シッポでさようなら」(水彩)「昭和は遠く…」
12	米山文雄	彫刻	笑う仏像招福祈願 ○十一面観音像 ○阿弥陀如来像 ○地藏菩薩像 ○聖徳太子像 ○鬼子母神
15	堂前綾子	布の絵本	1. ママといっしょに(英語バージョン) Let's go with mamma. 2. ママといっしょに(日本語バージョン) ママといっしょに 3. ママといっしょに(英語バージョン) Let's go with mamma. 4. ママといっしょに(日本語バージョン) ママといっしょに



17期から63期の参加者



64期から65期の参加者（現役の皆さん）



66期から67期の参加者（現役の皆さん）



ホワイトボード

会計担当から

伴 信昭 (18期 技術部在籍)



中央大学在学中、私はCHKに所属し、学生運動の真っ只中の時期(昭和41年4月から昭和45年3月)に大学生活を送りました。

卒業後は海外業務(駐在・長期出張)が多く、CHKのOB会活動は殆んど行えず、会費も未納が続きました。(転居先不明の時期も有り、一時音信不通)

2009年頃に18期幹事会への代理出席、その後OB会ゴルフに誘われた事を機会にCHKのOBの方々とのお付き合いが始まり、OB会活動に参加をさせて頂いた次第です。

長年の会費未納のまま活動する事も、心苦しく、幾ばくかの会費後納を行い、2012年に副幹事長を仰せつかりましたが、会の運営には余りお役に立てない状況でした。

2015年の9月5日の総会に於いて、会計を仰せつかり、現在に到っております。

慣れない為、皆様にご迷惑をお掛け致しますが、皆様からのご協力を得て、責務を果たしたいと考えておりますので、宜しく御願い申し上げます。

次の総会まで二年ですので、この11月に葉書にて二分4000円のOB会費を皆様に御願い致しております。

連絡が可能なCHK・OB 455名に会費納入のご案内を差し上げ、この12月14日現在で96名の方から会費をお送り頂いております。

OB会の運営には会費が不可欠な事は皆様が良くご承知の事と存じます。

訃報

平成25年3月以降、次の方々が逝去されております。

林 洋右(9期) 2013年(平成25年3月)
野上 弘子(9期) 2014年(平成26年7月)
榎崎 有敏(4期) 2015年(平成27年1月)
岡野 隆(9期) 2015年(平成27年4月)

OBゴルフ部会・報告

2015年は何かと荒れ模様で、ゴルフ部会も例外ではなく、今号ではご報告がありません。

「4月14日、9月17日、12月3日の3回予定していたコンペが天候不順により全て中止。年間3回連続中止は初めてのこと。よほど強い雨男がいたのでしょうか。」と齋藤剛副部会長(15期)からコメントをいただきました。

今回は快晴のレポートをお待ちしております。

今回は未だ21%。昨年の3分の2にも満たない状況ですので、一人でも多くの方からの会費納入を御願い申し上げます。

このマイトーク16号の発送に当たり、未納の方にお願いのチラシを同封させて頂きました。行き違いに納入頂いた方には大変失礼な事と存じますが、何卒ご容赦願います。

又、96名の内36名の方は会期の記載が無くカタカナのお名前は判るのですが、正式のお名前を名簿と比較しながら確認しています。

今のところ、会期と正式のお名前は判明しており問題は御座いせんが、これからご納入の方にはお振込みの祭には是非会期をご記入下さいます様、宜しく御願い申し上げます。

佐藤 明夫(7期) 2015年(平成27年8月)
古田島公正(12期) 2015年(平成27年11月)
有福 健二(14期) 2015年(平成27年11月)

編集後記

◆マイトークOB総会特集をお届けします。総会なかなか出席できない全国の会員の皆様に総会の様子が少しでもお伝え出来れば幸いです。

◆マイトークは皆さんのコミュニケーションのたにあります。

◆同期会や仲間との旅、日頃の活動やご意見等に加え、全国各地の情報を交換出来ればいいですね。

◆せっかくの『全国誌!』なのですから。

(担当:松原優20期)